

世界の核兵器に関する2024年版SIPRI報告書について

1 趣旨

2024年6月17日、ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）は世界の核兵器に関する2024年版の報告書を発表した。

2 年次統計の概要

(1) 世界全体

ア 2024年1月現在、下記9か国が、推計12,121発の核弾頭を保有しており、うち、9,585発が使用可能な状態にあると考えられている。そのうち、3,904発が作戦配備され、うち、約2,100発（昨年比+100）は高度警戒態勢下にある。

イ 世界の核兵器数の減少は、米国とロシアによる老朽化した兵器の廃棄が主因である。世界の作戦配備済の核兵器数の削減は下げ止まり傾向にあり、再度増加している。世界全体の核兵器数の約9割を保有する米ロ両国は、核弾頭、ミサイル、航空機／潜水艦運搬システム及び核兵器製造施設の更新や近代化のための大規模かつ高額なプログラムを進めている。とりわけ、2023年にロシアはベラルーシに核兵器を配備したと発表した。

ウ 中国は大幅な核兵器の近代化及び拡大を行っており、2023年には少数の核弾頭を配備した可能性がある。核兵器数は今後10年間で増加し続けると見られており、同時期の米ロと同数あるいはそれ以上の大陸間弾道ミサイル(ICBM)が配備されるとの予測もある。もっとも、中国の総核兵器数は米ロに比べ今後も低いままだと予測されている。

エ 他の全ての核保有国が新しい兵器システムの開発あるいは配備を行っている、あるいは行う意向を示している。

オ インド及びパキスタンも核兵器数を増やしつつあると考えられている。

カ 英国は、核兵器保有数の増加を計画している。

キ 北朝鮮は、引き続き軍事的核開発を国家安全保障戦略の中心と位置づけており、50発の核兵器を製造した可能性があり、更に製造が可能とみられる。

ク イスラエルは核兵器保有に関し長年にわたり曖昧政策を採り続けており、その核兵器数や特徴については不明な点が多い。

(2) 各国の核兵器数（推計）

国名	2023年1月	2024年1月	(参考) 増減
米国	5,244	5,044	△200
ロシア	5,889	5,580	△309
英国	225	225	0
フランス	290	290	0
中国	410	500	90
インド	164	172	8
パキスタン	170	170	0
北朝鮮	30	50	20
イスラエル	90	90	0
合計	12,512	12,121	増減計 △391

※出典:[SIPRI ウェブサイト](#)（増減値を除く）